

から松の本林の緑がともかよひです うぐいす
のたえずのりだまーしています 本林の静けさ
のままでも哀し おまにノリカCVAをマケ
まらりにヌダぬはくヅオリユムとトゲても哀し
キッチンでお登の用意をしなから テーブルの
方で本と読んでいる 主人の方をふと見ると
その姿の背景に二三の扉は部に切りとらんだ
美しいおどりの光が曲に入りなるとゼいたくは
のまら...と思ひます ひと月前の雪景色
他もすばらしいと思ひました 五月になら

新しいみどりがみるみる現われくる様は
言葉につくせぬ感動があります

少女の頃の夢をかたえて下さる
ほんとうにありがとうございます

百瀬さんとの出会いにばかり感謝しています
多くのお客様をおまねきしひとりひとりに
「新しい家」と思っていただけなるようにこの
家にふさわしい暮らしができるようにと願う

お礼のほどどうぞいふからいろいろと

ご指導下さいますようお願い致します

お忙しい日々と存じますが、お身体大切に

益々ご活躍下さいますようお願い致します

お礼のほどいふからいろいろと

遊びにおいで下さる白と黒、みどり、お礼の

ます

あしこ

二〇〇五年五月十七日

百瀬満様